

COMMONプロジェクト（初期支援型）

こころの健康教育プロジェクト

若者の自殺予防に資する 心の健康教育プログラム構築 のための予備調査

【プロジェクトメンバー】

広島国際大学 健康科学部心理学科 教 授 西村太志

〃

客員講師 太田真貴

東広島市健康福祉部医療保健課

共同研究 (COMMONプロジェクト)

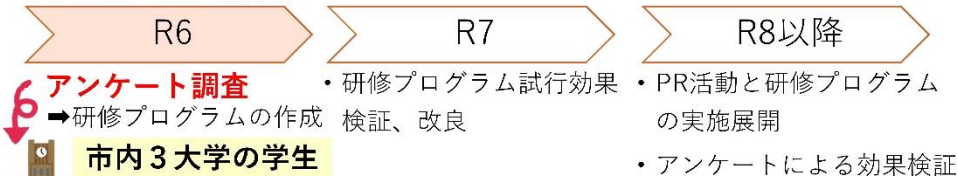
連携事業名 : 若者の自殺予防に資する心の健康教育プログラムの構築

実施者 : 広島国際大学健康科学部 西村太志教授 × 東広島市医療保健課

事業概要

内容	大学生等を対象としたアンケート調査を実施し、自殺対策における東広島市の若者の課題を洗い出し、それに応じた心の健康教育プログラム（大学内での講座展開等）を構築する。 スマホ依存は抑うつ度を高める。また、スマホでつながったコミュニティの個人への影響は大きく、繋がったコミュニティの質によっては自殺の予防につながる場合もあれば、ほう助につながることもある。 若者の自殺予防に効果的なスマホ利用に資する知見を抽出し、心の健康教育プログラム、自殺予防啓発プログラムに繋げる。
課題	東広島市の若者の自殺者は増加傾向にあり、全国、広島県と比較しても若者の自殺率は高く、早急な対策強化が必要となっている。
目的	①若者世代（大学生）の自殺予防に関する課題と現状の把握 ②自殺予防につながる研修プログラムの開発 ③市内で効果的な研修プログラムを展開

本プロジェクトの流れと今年度の取り組み プロジェクト計画



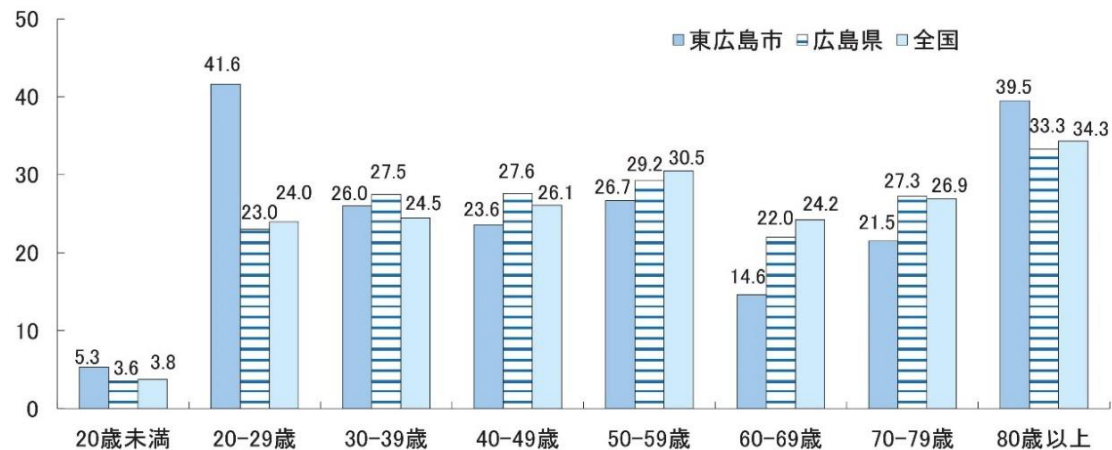
- 調査内容
- ①大学生の自殺に対する認識と現存する自殺対策への認知度の把握
 - ②大学生のSNS利用状況や目的の把握
 - ③SNS上の対人関係も含め、大学生はどのような対人関係（居場所）を築いているか
 - ④③とメンタルヘルス、援助希求行動との関連の把握
 - ⑤SNS上で精神的不調さを示す者や自殺に関する情報を得た際の心理的反応と対処行動についての把握



図表 男性の自殺死亡率(人口10万対)

/年齢別(東広島市・広島県・全国、平成29(2017)年～令和3(2021)年合計)

(/10万)

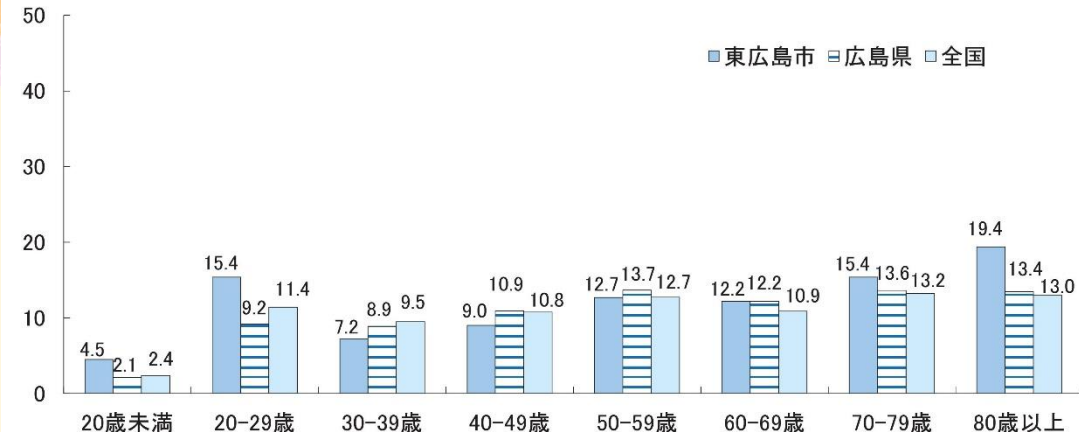


資料:東広島市地域自殺実態プロファイル(自殺総合対策推進センター)

図表〔女性の自殺死亡率(人口10万対)

/年齢別(東広島市・広島県・全国、平成29(2017)年～令和3(2021)年合計)

(/10万)



資料:東広島市地域自殺実態プロファイル(自殺総合対策推進センター)

自殺（自死）に関する 東広島市の若者の現状

第2次東広島市
自殺（自死）対策計画(2024.3)より



【目的】

東広島市内の学生と20歳代の自殺を防ぐ研修プログラムの作成

事業の ねらい



①若者世代（大学生）の自殺予防に関する課題
と現状の把握

②自殺予防につながる研修プログラムの開発

③市内で効果的な研修プログラムを展開

本プロジェクトの流れと今年度の取り組み

プロジェクト計画

R6

R7

R8以降

アンケート調査

→ 研修プログラムの作成

・ 研修プログラム試行効果
検証、改良

・ PR活動と研修プログラムの
実施展開

・ アンケートによる効果検証

市内3大学の学生

Focus point ! SNS “SNS世代、SNSは若者の自殺予防に有効活用できるか”

- ① 大学生の自殺に対する認識と現存する自殺対策への認知度の把握
- ② 大学生のSNS利用状況や目的の把握
- ③ SNS上の対人関係も含め、大学生はどのような対人関係（居場所）を築いているか
- ④ ③とメンタルヘルス、援助希求行動との関連の把握
- ⑤ SNS上で精神的不調さを示す者や自殺に関する情報を得た際の心理的反応と対処行動についての把握



R7年度以降の 本プロジェクトの展望

- ①自殺予防につながる**研修プログラム**の作成
- ②広国大において研修プログラムを実施
- ③広国大研修プログラムにおいて
発信コンテンツの作成
- ④①が自主的に広がり、大学高校で使用可能と
なるよう**試行と改良**を行う
- ⑤プログラム活用のための
仕掛け、仕組みづくり



アンケート
結果

①

研修
プログラム
素案作成

- ・東広島市の現状
や自殺に対する正
しい知識を集約

②③

【プロジェクト実施者＋大学生】



- ・自殺予防に関する正しい知識の習得
- ・SNS上での発信コンテンツの作成

④⑤

【地域】



教材の提供

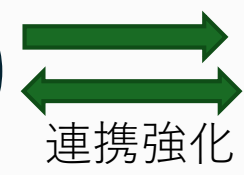


連携強化



調査結果のFB

教材の提供



連携強化

【高校・大学】

